

曲亭馬琴著作年表

※本表は曲亭馬琴の刊行著作を中心とした年譜である。再板、改題本等については、初板本の項に注記した。
 ※著作には現代仮名遣いで書名の読みを（ ）内に示したが、長編では初編のみに付した。
 ※書型は、草双紙は中本、読本は半紙本以外のもののみを記したが、草双紙で上紙摺や貸本屋向けなどの半紙本型と併存するものについては、これを記さない。

| 元号 | 明和 | 安永 | 天明 |
|-------------|------|-------------------|-------------------|
| 西暦 | 1767 | 1772 ～ 1780 | 1781 ～ 1788 |
| 年齢 | 1 | 6 ～ 14 | 15 ～ 22 |
| 刊行著作 | | | |
| (馬琴以外の著者関係) | | | |
| 〔画工〕 | | | |
| 〔版元〕 | | | |

| 寛政 | 寛政 | 寛政 | 寛政 | 寛政 | 寛政 |
|--|--|--|---|--|----|
| 寛政六 | 寛政五 | 寛政四 | 寛政三 | 寛政二 | |
| 1795 | 1793 | 1792 | 1791 | 1790 | |
| 29 | 27 | 26 | 25 | 24 | |
| <p>(草双紙 (黄表紙))</p> <p>(北斎)〔耕書堂〕</p> <p>・『福寿海无量品玉』(ふくじゅかいむりょうのしなだま) 三卷三冊、(唐来山人跋)〈春朗</p> | <p>(草双紙 (黄表紙))</p> <p>・『鼠子婚礼塵劫記』(ねずみこんれいじんこうき) 三卷三冊、(京伝序)〈豊国〉〔甘泉堂〕</p> <p>・『花团子食気物語』(はなよりだんごくいけものがたり) 三卷三冊、(京伝校)〈重政〉〔瑞玉堂〕</p> <p>・『荒山水天狗鼻祖』(あらやまみずてんぐのはじまり) 三卷三冊、〈政美〉〔瑞玉堂〕</p> <p>・『御茶漬十二因縁』(おちやづけじゅうにいんえん) 三卷三冊、〈春英〉〔伊勢治〕(嘶本)</p> <p>『笑府袷裂米』(おとしばなりえりたちごめ) 一卷一冊、〈政美〉〔耕書堂〕</p> <p>※嘉永六年に再板</p> | <p>(草双紙 (黄表紙))</p> <p>・『銘正夢楊柳一腰』(めいわまさゆめやなぎのひとこし) 三卷三冊、(馬琴序、无名子 (馬琴) 作)〈政美〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『登阪宝山道』(のぼりさかたからのやまみち) 二卷二卷、(无名子 (馬琴) 作)〈政美〉〔仙鶴堂〕</p> <p>※右二部五卷は、後に『伊賀越乗掛合羽』と合刻改題再刊</p> | <p>(草双紙 (黄表紙))</p> <p>・『実語教幼稚講釈』(じごきょうおさなこうしゃく) 三卷三冊、(京伝名・馬琴代作)〈春朗 (北斎)〉〔耕書堂〕</p> | <p>(草双紙 (黄表紙))</p> <p>・『尽用而二分狂言』(つかいはたしてにぶきょうげん) 二卷二冊、(京伝門人大栄山人作)〈豊国〉〔甘泉堂〕</p> | |

| 十政寛 | 九政寛 | 八政寛 | 七政 |
|---|--|--|--|
| 1798 | 1797 | 1796 | |
| 32 | 31 | 30 | |
| <p>(草双紙(黄表紙))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『御慰忠臣蔵之攷』(おなぐさみちゆうしんぐらのかんがえ) 二卷二冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『時代世話足利染』(じだいせわあしかがぞめ) 三卷三冊、(傀儡子作) 〈重政〉〔仙鶴堂〕 『足利染拾遺雛形』(あしかがぞめしゅういのひながた) 二卷二冊、(傀儡子作) 〈重政〉〔仙鶴堂〕 | <p>(草双紙(黄表紙))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『彦山権現誓助剣』(ひこさんごんげんちかいのすけだち) 五卷五冊、(傀儡子作) 〈重政〉〔耕書堂〕 『北国巡礼唄方便』(ほっこくじゅんれいうたほうべん) 三卷三冊、〈重政〉〔耕書堂〕 『竜宮苦界玉手箱』(たつのみやこくかいのたまてばこ) 三卷三冊、〈重政〉〔耕書堂〕 『武者合天狗俳諧』(むしやあわせてんぐはいかい) 二卷二冊、(傀儡子作) 〈重政〉〔耕書堂〕 『楠正成軍慮知恵輪』(くすのきまさしげぐんりよのちえのわ) 三卷三冊、〈重政〉〔耕書堂〕 『加古川本蔵綱目』(かこがわほんぞうこうもく) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『押絵鳥癡漢高名』(おしえどりあほうのこうみょう) 二卷二冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『大黒楹黄金柱礎』(だいこくばしらこがねのいしずえ) 二卷二冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『安倍清兵衛一代八卦』(あべのせいべいいちだいはっけ) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『庭莊子珍物茶話』(にわそうじちんぶつちやわ) 二卷二冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『无筆節用似字尽』(むひつせつようになじづくし) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 <p>※天保十年、〈国芳〉で再板</p> | <p>(草双紙(黄表紙))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『報復讐癡狂夫』(かたきうちおそのたわれお) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『堪忍五両金言語』(かんにんごりようこがねのことば) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『曲亭増補万人伝』(きよくていぞうほまんぼちでん) 二卷二冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『小双雨見越松毬』(しよぼしよぼあめみこしのまつかさ) 二卷二冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『墨川柳禿筆』(すみだがわやなぎのきれふで) 二卷二冊、〔仙鶴堂〕 『四遍摺心学草紙』(しへんずりしんがくぞうし) 三卷三冊、〈重政〉〔耕書堂〕 <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『高尾船字文』(たかおせんじもん) 中本五卷五冊、〈長喜〉〔耕書堂〕 <p>※天保六、七年に中本で再板、〈国貞〉〔柴屋文七〕</p> | <ul style="list-style-type: none"> 『心学晦莊子』(しんがくみそかそうじ) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 |

| 寛政二十 | 寛政一十 | 寛政 |
|--|--|----|
| 1800 | 1799 | |
| 34 | 33 | |
| <p>(草双紙(黄表紙))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『銭鹽貨写画』(ぜにかがみたからのうつしえ) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『譬喩義理與禰禪』(たとえのふしぎりとふんどし) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『人間万事塞翁馬』(にんげんばんじさいおうがむま) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『視葉霞報条』(みるがくすりかすみのひきふだ) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 <p>※天保八年、〈国芳、但し表紙は国貞〉で再板</p> <ul style="list-style-type: none"> 『胴人形肢体機関』(どうにんぎょうからだのからくり) 三卷三冊、〈重政〉〔耕書堂〕 『備前播盆一代記』(びぜんすりばちいちだいき) 三卷三冊、〈重政〉〔耕書堂〕 『花見話虱盛衰記』(はなみばなししらみせいすいき) 三卷三冊、〈豊国〉〔山口屋忠介〕(浄瑠璃) 『化競丑満鐘』(ばけくらべうしみつのかね) 半紙本三冊、〈重政〉〔耕書堂〕 <p>※天保元年以前に、画をあらたにし再板</p> <p>(滑稽本)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『戲子名所図会』(やくしやめいしよずえ) 半紙本三冊、(京山跋) 〈豊国〉〔仙鶴堂〕(絵本) 『俳優世二相』(やくしやさんじゆうにそう) 一冊、〈豊国〉〔耕書堂〕(雑) 『国尽女文章』(くにづくしおんなぶんしょう) 中本一卷一冊、自筆板下、〈重政〉〔仙鶴堂〕 | <p>※右二作は前後編、後に合冊し『鏡山旧錦絵』五卷五冊と改題再版。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『庵相案文当字揃』(そそうあんもんあてじぞろえ) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『大雑書拔萃縁組』(おおざっしよかきぬきえんぐみ) 三卷三冊、〈重政〉〔耕書堂〕 『増補獼猴蟹合戦』(ぞうほさるかにかっせん) 二卷二冊、(傀儡子作) 〈重政〉〔耕書堂〕 『鼻下長生菓』(はなのしたながいきのくすり) 三卷三冊、〈重政〉〔耕書堂〕 <p>(草双紙(黄表紙))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『无茶尽押兵』(むちやづくしおしのつわもの) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『東発名臯月落際』(えどのはなさつきもちりぎわ) 二卷二冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕 『鯨魚尺品革羽織』(くじらさししながわはおり) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『彼岸桜勝花談義』(ひがんだんぎ) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『料理茶話即席説』(りよりちやわそくせきはなし) 三卷三冊、〈重政〉〔仙鶴堂〕 『風見艸婦女節用』(かざみくさおんなせつよう) 三卷三冊、〈重政〉〔耕書堂〕 『世諺口紺屋雛形』(よのたとえくちからこうやひながた) 三卷三冊、〈子興〉〔耕書堂〕(嘶本) <ul style="list-style-type: none"> 『戲聞塩糶余史』(おとしばなしあんばいよし) (人日序) 〈子興〉〔耕書堂〕 <p>※文化十一年に『春の寿』〈国芳〉と改題再板、後、『再咲一霄譚』と改題再板</p> | |

| 享和 二 | 享和 元 |
|--|---|
| 1802 | 1801 |
| 36 | 35 |
| <p>(草双紙(黄表紙))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『養得茹名鳥図会』(かいえたりにわかめいちようずえ) 三卷三冊、(重政)〔仙鶴堂〕 『種蒔三世相』(たねまきさんぜそう) 三卷三冊、(重政)〔仙鶴堂〕 『初老了簡年代記』(しじゅうからりようけんねんだいき) 三卷三冊、(長喜)〔仙鶴堂〕 『太平記忠臣講釈』(たいへいきちゅうしんこうしゃく) 三卷三冊、(傀儡子作)〔豊国〕〔仙鶴堂〕 『忠臣講釈後坐巻』(ちゅうしんこうしゃくござのまき) 二卷二冊、(傀儡子作)〔豊国〕〔仙鶴堂〕 <p>※右二作は前後編</p> <ul style="list-style-type: none"> 『野夫鶯歌曲訛言』(やぶうぐいすうたのかたこと) 三卷三冊、(子興)〔仙鶴堂〕 『世帯評判記』(せたいひょうばんき) 三卷三冊、(豊国)〔耕書堂〕 『六冊懸徳用草紙』(ろくさつがけとくようぞうし) 三卷三冊、(重政)〔耕書堂〕 | <p>堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『山東式風煙管薄』(さんとういつぷうきせるのひながた) 一枚摺、〔耕書堂〕 <p>(草双紙(黄表紙))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『足手書草紙画賦』(あしてがきそうしのえくぼり) 三卷三冊、(重政)〔仙鶴堂〕 『教訓跡之祭戯單』(きょうくんとあとのまつりのばんづけ) 三卷三冊、(重政)〔仙鶴堂〕 『敵討蚤取眼』(かたきうちのみとりまなこ) 三卷三冊、(重政)〔仙鶴堂〕 『買飴紙鴛野弄話』(あめをかったらたこやろばなし) 二卷二冊、(重政)〔仙鶴堂〕 『浪速秤華兄芬輪』(なにわばかりうめのふんりん) 二卷二冊、(子興)〔仙鶴堂〕 『父讐宇津宮物語』(おやのかたきうつのみやものがたり) 三卷三冊、(傀儡子作)〔豊国〕〔仙鶴堂〕 『五齣浄瑠璃酒肆』(ごだんつづきじょうりざかや) 二卷二冊、(傀儡子作)〔豊国〕〔仙鶴堂〕 <p>※右二作は前後編。弘化四年に五卷合冊、『宇都宮黄金清水』として(芳虎)〔耕書堂〕で改題再板と「戯作者考補遺」(木村黙老)に見えるが、未見。代わって、弘化四年『父讐宇都宮譚』前後帙八卷四冊、(芳虎)〔錦橋堂〕あり</p> <ul style="list-style-type: none"> 『曲亭一風京伝張』(きよくていいつぷうきようでんぱり) 三卷三冊、(重政)〔耕書堂〕 <p>※享和九年に再板</p> <ul style="list-style-type: none"> 『春之駒象某行路』(はるのこましようぎのききみち) 三卷三冊、(重政)〔耕書堂〕 『絵本報讐録』(えほんかたきうち) 三卷三冊、(玉亭主人作)〔豊国〕〔山口屋忠介〕(絵本) 『画本武王軍談』(えほんぶおうぐんだん) 中本十卷五冊、(重政)〔仙鶴堂〕 |

| 元 化 文 | 三 和 享 |
|---|---|
| 1804 | 1803 |
| 38 | 37 |
| <p>(草双紙(黄表紙))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『敵討式人長兵衛』(かたきうちになちしょうびょうえ) 三卷三冊、(北郷醉飽人(重政))〔耕書堂〕 ・『松株木三階奇談』(まつのかぶきさんかいきだん) 三卷三冊、(北郷醉飽人(重政))〔耕書堂〕 ・『五人拍鄙言』(ごにんばやしひなものごたり) 三卷三冊、(重政)〔仙鶴堂〕 ・『新研十六武蔵坊』(しんはんかわりましたじゅうろくむさしぼう) 三卷三冊、(重政)〔仙鶴堂〕 ・『小夜中山宵啼碑』(さよのなかやまよなきのいしぶみ) 三卷三冊、(豊広)〔仙鶴堂〕(読本) ・『小説比翼紋(しょうせつひよくもん) 中本二卷二冊、(北斎)〔仙鶴堂〕 ・『曲亭伝奇花釵児』(きよくていでんきはなかんざし) 中本二卷二冊、(※未詳)〔松茂堂〕(絵本) ・『絵本漢楚軍談』(えほんかんそぐんだん) 前編五卷五冊、後編五卷五冊、(紅翠齋(重政))〔仙鶴堂〕 <p>※文政十二年に二冊、(国芳)、袋入合巻として再板</p> <p>(浄瑠璃)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『零雲の道行』(ゆうだてやくものみちゆき) 一冊、(長喜)〔随筆〕 ・『蓑笠雨談』(さりつうだん) 前編三卷三冊、〔耕書堂〕 | <p>(草双紙(黄表紙))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『阴兼阳阳珍紋図彙』(かげとひなたちんもんずい) 三卷三冊、(重政)〔仙鶴堂〕 ・『俟待開帳咄』(まちにまつたかいちようばなし) 三卷三冊、(豊国)〔仙鶴堂〕 ・『臍沸西遊記』三卷三冊、(秀麿)〔仙鶴堂〕 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『俳諧歳時記』(はいかいさいじき) 横本二卷二冊、〔文金堂他〕 <p>※嘉永四年、藍亭青藍補『増補改訂 俳諧歳時記栞草』横本四卷四冊、〔敦賀屋九兵衛他〕として増補改訂版を刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『體新書』(あまざけしんじよ) (享和三年自序) <p>※明治二十年、井上勝五郎発行の活字本あり</p> |

| 文 化 二 | 1805 |
|---|---|
| 文 化 三 | 1806 |
| 39 | 40 |
| <p>※嘉永三年に『著作堂一夕話』と改題再板</p> <p>(草双紙(黄表紙))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『奉打札所誓』(うちたてまつるふだしよのちかい) 三卷三冊、〈月麿〉〔耕書堂〕 ・『妙黄粉殿道明寺』(みょうきなここごめどうみょうじ) 三卷三冊、〈長喜〉〔耕書堂〕 ・『復讐阿姑射之松』(かたきうちあこやのまつ) 前編三卷三冊、後編二卷二冊、(傀儡子清友作) 〈豊広〉〔仙鶴堂〕 ・『猫奴牡忠義合奏』(ねこのつまちゆうぎのつれびき) 三卷三冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕 <p>※弘化二年に『猫児牝忠義合奏』として馬琴新序付 〈国芳〉〔仙鶴堂〕で再刻</p> <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『月水奇縁』(げっぴょうきえん) 五卷五冊、〈流光斎如圭他〉〔文金堂〕 ・『稚枝鳩』(わかえのはと) 五卷五冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕 ・『石言遺響』(せきげんいきょう) 五卷五冊、〈北馬〉〔中川新七・平林堂〕 ・『四天王剽盜異録』(してんのうしろうとういろく) 十卷十冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕 <p>※天保六年に前編五卷一冊で宝文堂再刊</p> | <p>(草双紙(黄表紙))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『武者修行木斎伝』(むしゃしゆぎようもくさいでん) 前編三卷三冊、後編三卷三冊、(門人嶺松亭校) 〈豊広〉〔仙鶴堂〕 ・『敵討鼎壯夫』(かたきうちかなえのますらお) 前編三卷三冊、後編二卷二冊、〈酔放逸人(重政)〉〔仙鶴堂〕 <p>※『北圃三勇士伝』五卷一冊、〈貞重〉と改題再板あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『敵討雑居寝物語』(かたきうちざごねものがたり) 前編三卷三冊、後編三卷三冊、〈酔放逸人(重政)〉〔仙鶴堂〕 ・『大師河原撫子話』(だいしがわらなでしこばなし) 前編三卷三冊、後編三卷三冊、〈酔放逸人(重政)〉〔耕書堂〕 <p>※天保十二年、〈国貞〉〔紅英堂〕で再板、また天保十年までに〔錦森堂〕で再板</p> <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『新編水滸画伝』(しんぺんすいこがでん) 初編前帙、六卷六冊、〈北斎〉〔盛文堂・衆星閣〕 <p>※〔万笈堂・群玉堂〕の後摺あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『勸善常世物語』(かんぜんつねよものがたり) 五卷五冊、〈北馬〉〔柏栄堂〕 <p>※後に絶板。文政六年、一部〈英泉〉にて〔文永堂〕再刻。群鳳堂・群玉堂の後摺あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『三国一夜物語』(さんごくいちやものがたり) 五卷五冊、〈豊国〉〔慶賀堂〕 <p>※後に〈国直〉で〔文永堂〕再刻。文政九年に〔青林堂〕再板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『盆石皿山記』(ぼんせきさらやまのき) 前編、中本二卷二冊、(嶺松亭跋) 〈豊広〉〔鳳来堂〕 |

| 五 化 文 | 四 化 文 |
|---|---|
| 1808 | 1807 |
| 42 | 41 |
| <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『敵討白鳥関』(かたきうちしらとりのせき) 六卷二冊、(豊広)〔甘泉堂〕 ・『歌舞伎伝介忠義説話』(かぶきでんすけちゆうぎばなし) 七卷二冊、(春亭)〔山城屋藤右衛門〕※全編、薄墨入 ・『敵討兎手柏』(かたきうちこのてがしわ) 五卷二冊、(豊国)〔蘭香堂〕 <p>※天保五年、『讐討兎手柏』六卷三冊、(宝田千町作) (二世重政)〔正栄堂〕として再刊。</p> | <p>※柏原屋儀兵衛、五冊の後摺あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『敵討誰也行燈』(かたきうちたそやあんどう) 中本二卷二冊、(豊国)〔雙鶴堂〕 <p>※文化十三年、『再栄花川譚』〔瑞錦堂〕として改題再板。文化四年、『敵討記念長船』中本二卷二冊として改題再板か</p> <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『敵討岬幽壑』(かたきうちみさきのほら) 六卷二冊、(春亭)〔耕書堂〕 ・『敵討鼓瀑布』(かたきうちつづみがたき) 六卷二冊、(豊広)〔仙鶴堂〕 <p>※弘化二年、『稻葉山鼓ケ滝』四卷二冊、(宝田千町作) (国芳)〔寿鶴堂〕として改題再板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『嶋村蟹水門仇討』(しまむらがにみなとのあだうち) 六卷二冊、(豊広)〔仙鶴堂〕 ・『不老門化粧若水』(おいせぬかどけはいのわかみず) 二卷一冊、(国貞)〔万屋四郎兵衛〕 <p>※下伽羅油屋万屋四郎兵衛の初春景物本、袋入り十丁物。文化六年、『句全伽羅柴舟』〔文寿堂〕と改題再板</p> <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『椿説弓張月』(ちんせつゆみはりづき) 前編六卷六冊、(北斎)〔平林堂〕 ※〔群玉堂〕の後摺あり ・『墨田川梅柳新書』(すみだがわばいりゆうしんしょ) 六卷六冊、(北斎)〔仙鶴堂〕 ・『敵討裏見葛葉』(かたきうちうらみくずのは) 五卷五冊、(北斎)〔平林堂〕 ※〔中村屋幸蔵・文淵堂〕で一部改刻再板 ・『新編水滸画伝』初編後帙 五卷五冊、(北斎)〔盛文堂・衆星閣〕 ※二編以下は高井蘭山訳、(北斎)で九編全九十巻に及ぶ ・『新界解脱物語』(しんかきさねげだつものがたり) 五卷五冊、(北斎)〔文金堂〕 ・『園の雪』(そののゆき) 五卷五冊、(北斎)〔衆星閣〕 ※〔群玉堂〕の後摺あり ・『刈萱後伝玉櫛笥』(かるかやこうでんたまくしげ) 中本三卷三冊、(北斎)〔木蘭堂〕 ※後に『石堂丸刈萱物語』〔双鶴堂〕と改題再板 ・『盆石皿山記』後編中本二卷二冊、(一竹斎建竹跋) (豊広)〔鳳来堂〕 ※〔柏原屋義兵衛・三木佐助〕の後摺あり |

| | |
|---|--|
| 文 化 六 | |
| 1809 | |
| 43 | |
| <p>・『松染情史秋七草』（しょうぜんじょうしあきのななくさ）五卷五冊、〈豊広〉〔文金堂〕（読本）</p> <p>・『敵討賽八丈』（かたきうちまがいはちじょう）六卷二冊、〈国貞〉〔耕書堂〕</p> <p>※天保十一年、六卷三冊、〈国貞〉〔紅英堂〕で、画を替えて再刻</p> <p>・『山中鹿介稚物語』（やまなかしかのすけおさなものがたり）十卷三冊、〈春亭・美丸〉〔洛藤舎〕</p> <p>・『奉賀助太刀』（ほうがのすけだち）十卷三冊、〈豊広〉〔甘泉堂〕</p> <p>・『小女郎蜘蛛怨芋環』（こじよろうぐもうらみのおだまき）十二卷三冊、〈春亭〉〔仙鶴堂〕</p> <p>※天保十二年に上冊、十三年に中・下冊が〈国芳、表紙は国貞〉〔甘泉堂〕で再板</p> <p>・『草双紙（合巻）』</p> <p>・『小女郎蜘蛛怨芋環』（こじよろうぐもうらみのおだまき）十二卷三冊、〈春亭〉〔仙鶴堂〕</p> <p>※天保十二年に上冊、十三年に中・下冊が〈国芳、表紙は国貞〉〔甘泉堂〕で再板</p> <p>・『奉賀助太刀』（ほうがのすけだち）十卷三冊、〈豊広〉〔甘泉堂〕</p> <p>・『山中鹿介稚物語』（やまなかしかのすけおさなものがたり）十卷三冊、〈春亭・美丸〉〔洛藤舎〕</p> <p>・『敵討賽八丈』（かたきうちまがいはちじょう）六卷二冊、〈国貞〉〔耕書堂〕</p> <p>※天保十一年、六卷三冊、〈国貞〉〔紅英堂〕で、画を替えて再刻</p> | <p>さらに『河童相伝』六卷三冊、宝田千町作（二世重政）〔正栄堂〕と改題再板</p> <p>・『敵討身代利名号』（かたきうちみがりみょうごう）六卷二冊、〈北斎〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『小鍋丸手石入船』（こなべまるていしのいりふね）六卷二冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕（読本）</p> <p>・『括頭巾縮緬紙衣』（くくりずきんちりめんかみこ）三卷三冊、〈豊広〉〔鳳来堂〕</p> <p>※文政十四年、『柳巷話説』〈国芳〉と改題再板あり</p> <p>・『椿説弓張月』後編、六卷六冊、〈北斎〉〔平林堂〕</p> <p>・『雲妙間雨夜月』（くものたえまあまよのつき）五卷六冊、〈豊広〉〔柏栄堂〕</p> <p>※〔群玉堂〕〔文永堂〕の後摺あり</p> <p>・『頼豪阿闍梨恠鼠伝』（らいごうあじやりかいそでん）前編五卷五冊、〈北斎〉〔仙鶴堂〕</p> <p>※〔群玉堂〕の後摺あり</p> <p>・『松浦佐用媛石魂録』（まつらさよひめせきこんろく）前編三卷三冊、〈豊広〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『巷談坡堤庵』（こうだんつつみのいお）中本三卷三冊、〈豊広〉〔慶賀堂〕</p> <p>※文化七年、『桑平内坡堤庵』三卷五冊と改題再板あり</p> <p>・『三七全伝南柯夢』（さんしちぜんでんなんかのゆめ）六卷六冊、〈北斎〉〔木蘭堂〕</p> <p>※〔群玉堂〕の一部改刻後摺あり</p> <p>・『敵討枕石夜話』（かたきうちしんせきやわ）中本二卷二冊、〈豊広〉〔慶賀堂〕</p> <p>・『俊寛僧都鳴物語』（しゅんかんそうざしまものがたり）前後編八卷八冊、〈豊広〉〔柏栄堂〕</p> <p>※〔堺屋国蔵〕〔河内屋真七〕の後摺あり</p> <p>・『頼豪阿闍梨恠鼠伝』後編三卷四冊、〈北斎〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『旬殿実々記』（じゅんでんじつじつき）上下十卷十冊、〈豊広〉〔木蘭堂〕</p> <p>※安政四年、〔群玉堂〕の再刻あり</p> <p>・『椿説弓張月』続編六卷六冊、〈北斎〉〔平林堂〕</p> |

| 文 化 七 | 文 化 八 | 文 化 九 |
|---|---|--|
| 1810 | 1811 | 1812 |
| 44 | 45 | 46 |
| <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『松之月新刀明鑑』(まつのつきしんとうめいかん) 六卷二冊、〈春亭〉〔甘泉堂〕 ・『打也敵野寺鼓草』(うてやかたきのでらのたんぼ) 三卷一冊、〈春扇〉〔甘泉堂〕 ・『姥桜女清玄』(うばざくらおんなせいげん) 六卷二冊、〈春亭〉〔仙鶴堂〕 <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『夢想兵衛胡蝶物語』(むそうびょうえこちようものがたり) 前編五卷五冊、〈豊広〉〔螢雪堂三河屋惣兵衛〕 <p>※〔平林堂〕〔中金堂〕〔群玉堂〕の後摺あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『椿説弓張月』拾遺五卷六冊、〈北斎〉〔西村源六〕 ・『昔語質屋庫』(むかしがたりしちやのくら) 五卷五冊、〈春亭〉〔文金堂〕 <p>※〔文永堂〕の後摺あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『常夏草紙』(とこなつぞうし) 五卷五冊、〈春亭〉〔木蘭堂〕 <p>※文政九年、〔文魁堂〕再板あり。〔群玉堂〕の後摺あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『夢想兵衛胡蝶物語』後編四卷四冊、〈豊広〉〔螢雪堂三河屋惣兵衛〕 <p>※〔平林堂〕〔中金堂〕〔群玉堂〕の後摺あり</p> | <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『相馬内裏後雛棚』(そうまだいりのちのひなだな) 六卷二冊、〈春扇〉〔甘泉堂〕 ・『梅洪吉兵衛発心記』(うめしぶきちべえほっしんき) 六卷二冊、〈春扇〉〔仙鶴堂〕 <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『椿説弓張月』残編五卷六冊、〈北斎〉〔平林堂〕 <p>(随筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『燕石襍志』(えんせきざっし) 大本五卷六冊、〈琴嶺〉〔文金堂〕 <p>※〔文永堂〕の後摺あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『烹雑の記』(にまぜのき) 前集大本二卷四冊、〈琴嶺他〉〔柏永堂〕 <p>(絵本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『竹馬の鞍』(ちくばのとも) 三卷三冊、〈北馬〉〔双鶴堂・柏栄堂〕 <p>※天保九年、『絵本武者合』〔和泉屋半兵衛・紙屋利助〕と改題再板</p> | <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『浪葩桂夕潮』(なみのはなかつらのゆうしお) 五卷二冊、〈春扇〉〔甘泉堂〕 ・『傾城道中双陸』(けいせいどうちゆうすごろく) 六卷二冊、〈春扇〉〔甘泉堂〕 ・『行平鍋須磨酒宴』(ゆきひらなべすまのさかもり) 六卷二冊、〈春扇〉〔仙鶴堂〕 <p>※天保十一年、『藻塩草須磨書替』(蘆谷作) 〔貞秀、ただし表紙は国貞〕と改題再版</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『千葉館世継雑談』(ちばやかたよつぎぞうだん) 六卷二冊、〈国貞・春亭〉〔栄林堂〕 ・『鳥籠山鸚鵡助剣』(とこのやまおうむのすけだち) 六卷二冊、〈美丸〉〔仙鶴堂〕 <p>※天保十年、『佐野渡怨敵懸橋』六卷三冊、(緑亭仙橋作) 〔貞秀〕と改題再板</p> |

| 文 化 十 年 | 文 化 十 一 年 | 文 化 二 十 年 |
|--|--|--|
| 1813 | 1814 | 1815 |
| 47 | 48 | 49 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・『敵討仇名物数奇』（かたきうちあだなものずき）三卷一冊、〈春亭〉〔仙鶴堂〕 ※文化十一年、三卷三冊の黄表紙仕立の再摺あり （読本） ・『青砥藤綱模稜案』（あおとふじつなもりようあん）前集五卷五冊、〈北斎〉〔平林堂〕 ・『占夢南柯後記』（ゆめあわせなんかこうき）八卷八冊、〈北斎〉〔木蘭堂〕 ・『青砥藤綱模稜案』後集五卷五冊、〈北斎〉〔平林堂〕 ・『糸桜春蝶奇縁』（いとざくらしゆんちようきえん）十卷十冊、〈豊清・豊広〉〔木蘭堂〕 ※〔宝聚堂〕〔群玉堂〕の後摺あり （草双紙（合巻）） ・『敵討勝乘掛』（かたきうちかつにのりかけ）六卷二冊、〈春扇〉〔甘泉堂〕 （その他） ・『役者用文章』（やくしやようぶんしゆう）一卷一冊、〈陽春跋〉〈秀麿〉〔中村屋幸蔵〕 ・『金比羅利生記』（こんびらりししようき）一冊十一丁、〔万笈堂か〕 | <ul style="list-style-type: none"> （草双紙（合巻）） ・『皿屋敷浮名染著』（さらやしきうきなそのそめつけ）六卷二冊、〈清峰〉〔仙鶴堂〕 ・『巳鳴鐘男道成寺』（みになるかねおとこどうじょうじ）六卷二冊、〈豊国〉〔甘泉堂〕 ・『駅路鈴与作春駒』（えきろのすずよさくがはるこま）六卷二冊、〈国貞〉〔岩戸屋喜三郎〕 （読本） ・『八丈綺談』（はちじょうきだん）五卷六冊、〈北嵩〉〔山青堂〕 ※〔宝玉堂〕の後摺あり ・『南総里見八犬伝』（なんそうさとみはっけんでん）肇輯五卷五冊、〈重信〉〔山青堂〕 ※〔文溪堂〕の一部改刻再板、〔群玉堂〕の後摺あり | <ul style="list-style-type: none"> （草双紙（合巻）） ・『蘆名辻寢児仇討』（あしなつじいざりのあだうち）六卷二冊、〈国丸〉〔仙鶴堂〕 ・『比翼紋目黒色揚』（ひよくもんめぐろのいろあげ）六卷三冊、〈豊国〉〔甘泉堂〕 ・『女護嶋恩愛俊寛』（にようごのしまおんなしゆんかん）六卷二冊、〈国直、但し表紙は豊国〉〔丸屋文右衛門〕 ・『赫奕竹節話節』（かぐやひめたけのよかたり）六卷二冊、〈重信〉〔荣林堂〕 （読本） |

| 文政二年 | 文政元年 | 文化十四年 | 文化三十年 |
|--|---|--|--|
| 1819 | 1818 | 1817 | 1816 |
| 53 | 52 | 51 | 50 |
| <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『春海月玉取』(はるのうみつきのたまとり) 六卷二冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕 ※『白狐珠取物語』(表紙は菱川清春)で改題再板 『雪調貢身代鉢木』(ゆきのみつぎみがわりはちのき) 六卷二冊、〈春扇〉〔甘泉堂〕(読本) | <p>(随筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『玄同放言』一集大本三卷三冊、〈琴嶺・華山〉〔文溪堂〕 | <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『達模様判官最負』(だてもようぼうがんひいき) 六卷二冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕 『伊与實垂女純友』(いよすだれおんなすみとも) 六卷二冊、〈春扇〉〔甘泉堂〕 『鶴山後日轉』(ひばりやまごにちのさえずり) 六卷二冊、〈国貞〉〔文寿堂〕 ※『鶴山雪間之若草』『中将丸蓮糸功』、『鶴山利生台』、『ひばり山利益の仇討』などの改題再板あり 『盤州将棋合戦』(ばんしゅうしょうぎがっせん) 六卷二冊、〈春扇〉〔甘泉堂〕 『百物語長者万燈』(ひやくものがたりちようじやのまんどう) 六卷二冊、〈春亭〉〔栄林堂〕 ※弘化元年、『白鼠忠義物語』六卷二冊、〈貞重〉〔金幸堂〕と改題再刻 <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『朝夷巡嶋記』二編五卷五冊、〈豊広〉〔文金堂〕 | <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『朝夷巡嶋記』(あさいなしめめぐりのき) 初編五卷五冊、〈豊広〉〔文金堂〕 ※〔群玉堂〕の後摺あり 『皿皿郷談』(べいべいききょうだん) 五卷六冊、〈前北斎戴斗〉〔木蘭堂〕 ※安政五年、〔群玉堂〕八卷八冊の再刻、他に五卷九冊の後摺などあり <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『毬唄三人長兵衛』(てまりうたさんにんちようべえ) 六卷二冊、〈国貞〉〔文寿堂〕 ※一部削除の後摺あり 『月都大内鏡』(つきのみやこおおうちかがみ) 六卷二冊、〈国丸〉〔双鶴堂〕 ※天保年間、『春霞月乃都』〔大阪・加島屋〕のと改題再板 <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『南総里見八犬伝』二輯五卷五冊、〈重信〉〔さんせいどう〕 ※〔文溪堂〕の一部改刻再板、〔群玉堂〕の後摺あり |

| 年 政 文 | 年 政 文 | 年 政 文 | 年 政 文 |
|--|---|---|---|
| 1823 | 1822 | 1821 | 1820 |
| 57 | 56 | 55 | 54 |
| <p>・『南総里見八犬伝』三輯五卷五冊、〈重信〉〔山青堂〕</p> <p>・『朝夷巡嶋記』三編五卷五冊、〈豊広〉〔文金堂〕</p> <p>(雑)</p> <p>・『義経千本桜』(よしつねせんぼんざくら) 四六丁三冊、(仙鶴堂主人約述、馬琴校閲)〈豊国〉〔仙鶴堂〕、ただし実際は馬琴代作</p> <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『弘法大師誓筆法』(こうぼうだいしちかひのひっぽう) 六卷二冊、〈国貞〉〔錦森堂〕</p> <p>・『信田妖手白猿牽』(しのだづまてじろのさるひき) 六卷三冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『安達原秋二色木』(あだちがはらあきのにしきぎ) 六卷二冊、〈豊国〉〔栄久堂〕</p> <p>・『籠二成竹取物語』(かごになるたけとりものがたり) 六卷二冊、〈春扇〉〔甘泉堂〕</p> <p>(読本)</p> <p>・『南総里見八犬伝』四輯四卷四冊、〈重信〉〔山青堂〕</p> <p>※再板時には五輯巻一を加えて五巻五冊とする</p> <p>(随筆)</p> <p>・『玄同放言』二集大本三巻三冊、〔文溪堂〕</p> <p>※板木は文政十二年に焼失</p> <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『宮戸河三社網船』(みやとがわさんしゃのあみふね) 六卷三冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『六三之文車』(ろくさがふるま) 六巻三冊、〈豊国〉〔甘泉堂〕</p> <p>(読本)</p> <p>・『朝夷巡嶋記』四編五巻五冊、〈豊広〉〔文金堂〕</p> <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『女阿漕夜網太刀魚』(おんなあこぎよあみのたちうお) 六巻三冊、〈英泉〉〔甘泉堂〕</p> <p>・『月宵吉阿玉之池』(つきよよしおたまがいけ) 六巻二冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『照子池浮名写絵』(かがみがいけうきなノウツしえ) 六巻三冊、〈英泉〉〔錦森堂〕</p> <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『膏油橋河原祭文』(あぶらばしかわらさいもん) 六巻二冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『女夫織玉川晒布』(めおとおりたまがわさらし) 六巻二冊、〈豊国〉〔永寿堂〕</p> <p>・『諸時雨紅葉合傘』(もろしぐれもみじのあいかさ) 六巻二冊、〈豊国〉〔甘泉堂〕</p> <p>(読本)</p> <p>・『八犬伝』五輯六巻六冊、〈重信・英泉〉〔山青堂〕</p> <p>※再板時には五輯巻一を四輯に入れ、五巻五冊となる</p> | <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『膏油橋河原祭文』(あぶらばしかわらさいもん) 六巻二冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『女夫織玉川晒布』(めおとおりたまがわさらし) 六巻二冊、〈豊国〉〔永寿堂〕</p> <p>・『諸時雨紅葉合傘』(もろしぐれもみじのあいかさ) 六巻二冊、〈豊国〉〔甘泉堂〕</p> <p>(読本)</p> <p>・『八犬伝』五輯六巻六冊、〈重信・英泉〉〔山青堂〕</p> <p>※再板時には五輯巻一を四輯に入れ、五巻五冊となる</p> | <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『宮戸河三社網船』(みやとがわさんしゃのあみふね) 六巻三冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『六三之文車』(ろくさがふるま) 六巻三冊、〈豊国〉〔甘泉堂〕</p> <p>(読本)</p> <p>・『朝夷巡嶋記』四編五巻五冊、〈豊広〉〔文金堂〕</p> | <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『弘法大師誓筆法』(こうぼうだいしちかひのひっぽう) 六巻二冊、〈国貞〉〔錦森堂〕</p> <p>・『信田妖手白猿牽』(しのだづまてじろのさるひき) 六巻三冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『安達原秋二色木』(あだちがはらあきのにしきぎ) 六巻二冊、〈豊国〉〔栄久堂〕</p> <p>・『籠二成竹取物語』(かごになるたけとりものがたり) 六巻二冊、〈春扇〉〔甘泉堂〕</p> <p>(読本)</p> <p>・『南総里見八犬伝』四輯四巻四冊、〈重信〉〔山青堂〕</p> <p>※再板時には五輯巻一を加えて五巻五冊とする</p> <p>(随筆)</p> <p>・『玄同放言』二集大本三巻三冊、〔文溪堂〕</p> <p>※板木は文政十二年に焼失</p> <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『宮戸河三社網船』(みやとがわさんしゃのあみふね) 六巻三冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『六三之文車』(ろくさがふるま) 六巻三冊、〈豊国〉〔甘泉堂〕</p> <p>(読本)</p> <p>・『朝夷巡嶋記』四編五巻五冊、〈豊広〉〔文金堂〕</p> |

| 年九政文 | 年八政文 | 年七政文 |
|---|--|--|
| 1826 | 1825 | 1824 |
| 60 | 59 | 58 |
| <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『大齋莊子蝶胥筭』(やまとぞうしちようちよのかんざし) 六卷三冊、〈国貞〉〔甘泉堂〕 ・『姫万両長者鉢木』(ひめまんりようちようぢやのはちのき) 六卷三冊、〈国貞・美丸〉〔錦森堂〕 | <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『縁結文定紋』(えんむすびふみのじようもん) 六卷二冊、〈国貞〉〔栄寿堂〕 ・『傾城水滸伝』(けいせいすいこでん) 初編八卷四冊、〈豊国〉〔仙鶴堂〕 <p>※二編と共に文政九年、天保元年に再板。安政四年、『女水滸伝』〔大黒屋平吉〕と改題再板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『金毘羅船利生纜』二編六卷三冊、〈英泉〉〔甘泉堂〕 | <ul style="list-style-type: none"> ・『朝夷巡嶋記』五編五卷五冊、〈豊広〉〔文金堂〕 <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『梅桜対姉妹』(うめさくらついのおととい) 六卷二冊、〈豊国〉〔甘泉堂〕 ・『襲棲辻花染』(かさねつまつじがはなそめ) 五卷二冊、〈豊国〉〔永寿堂〕 ・『童蒙話赤本事始』(わらべはなしあかほんじし) 六卷三冊、〈国貞〉〔錦森堂〕 ・『金毘羅船利生纜』(こんびらぶねりしようのともづな) 初編六卷三冊、〈英泉〉〔甘泉堂〕 ・『殺生石後日怪談』(せっしょうせきごにちのかいだん) 初編上二十一丁、下二十二丁、〈豊国・国貞〉〔錦耕堂〕 <p>※天保四年に三冊で表紙改刻再板、袋入り後摺あり</p> |

| | 文政十年 | 文政十一年 | 文政二十年 |
|---|---|--|--|
| <p>・『傾城水滸伝』二編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕</p> <p>※初編と共に文政九年、天保元年に再板。安政四年、『女水滸伝』〔大黒屋平吉〕と改題再板</p> <p>・『金毘羅船利生纜』三編六卷三冊、〈英泉〉〔甘泉堂〕</p> <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『牽牛織女願糸竹』(たなばたつめねがいのいとたけ) 六卷三冊、〈国貞〉〔栄寿堂〕</p> <p>・『傾城水滸伝』三編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『金毘羅船利生纜』四編六卷三冊、〈英泉〉〔甘泉堂〕</p> <p>(読本)</p> <p>・『南総里見八犬伝』六集五卷六冊、〈重信・英泉〉〔涌泉堂〕</p> <p>・『朝夷巡鳴記』六編五卷五冊、〈豊広〉〔文金堂〕</p> <p>※以降は松亭金水が嗣作</p> | <p>61</p> <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『今戸土産女西行』(いまだみやげおんなさいぎょう) 六卷三冊、〈国貞〉〔錦森堂〕</p> <p>・『傾城水滸伝』四編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『傾城水滸伝』五編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕</p> <p>(読本)</p> <p>・『松浦佐用媛石魂録』二集四卷四冊、〈英泉〉〔千翁軒〕</p> <p>・『松浦佐用媛石魂録』三集三卷三冊、〈英泉〉〔千翁軒〕</p> | <p>62</p> <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『傾城水滸伝』六編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『傾城水滸伝』七編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『傾城水滸伝』八編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『殺生石後日怪談』二編四卷二冊、〈豊国・国貞〉〔錦耕堂〕</p> <p>・『金毘羅船利生纜』五編、六卷三冊、〈英泉〉〔甘泉堂〕</p> <p>・『金毘羅船利生纜』六編、八卷四冊、〈英泉〉〔甘泉堂〕</p> <p>・『漢楚賽擬選軍談』(かんそまがいみたてぐんだん) 初編四卷二冊、〈国安〉〔永寿堂〕</p> <p>※天保四年、〈表紙は国貞〉〔永寿堂〕で再板。嘉永三年『源平和漢染分』初〜六編、〈国安〉〔金随堂〕として改題再板</p> <p>・『漢楚賽擬選軍談』二編四卷二冊、〈国安〉〔永寿堂〕</p> <p>・『風俗金魚伝』(ふうぞくきんぎょでん) 初編八卷四冊、〈国安〉〔錦森堂〕</p> <p>※天保八年以降に〔松寿堂〕で再板</p> <p>(読本)</p> <p>・『近世説美少年録』初輯五卷五冊、〈国貞〉〔千翁軒〕</p> <p>・『南総里見八犬伝』七輯上帙四卷四冊、〈英泉・重信〉〔涌泉堂〕</p> | <p>63</p> <p>(草双紙(合卷))</p> <p>・『傾城水滸伝』六編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『傾城水滸伝』七編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『傾城水滸伝』八編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕</p> <p>・『殺生石後日怪談』二編四卷二冊、〈豊国・国貞〉〔錦耕堂〕</p> <p>・『金毘羅船利生纜』五編、六卷三冊、〈英泉〉〔甘泉堂〕</p> <p>・『金毘羅船利生纜』六編、八卷四冊、〈英泉〉〔甘泉堂〕</p> <p>・『漢楚賽擬選軍談』(かんそまがいみたてぐんだん) 初編四卷二冊、〈国安〉〔永寿堂〕</p> <p>※天保四年、〈表紙は国貞〉〔永寿堂〕で再板。嘉永三年『源平和漢染分』初〜六編、〈国安〉〔金随堂〕として改題再板</p> <p>・『漢楚賽擬選軍談』二編四卷二冊、〈国安〉〔永寿堂〕</p> <p>・『風俗金魚伝』(ふうぞくきんぎょでん) 初編八卷四冊、〈国安〉〔錦森堂〕</p> <p>※天保八年以降に〔松寿堂〕で再板</p> <p>(読本)</p> <p>・『近世説美少年録』初輯五卷五冊、〈国貞〉〔千翁軒〕</p> <p>・『南総里見八犬伝』七輯上帙四卷四冊、〈英泉・重信〉〔涌泉堂〕</p> |

| 天保元年 | 天保二年 | 天保三年 |
|---|---|------|
| 1830 | 1831 | 1832 |
| 64 | 65 | 66 |
| <p>(往來物)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『雅俗要文』(がぞくようぶん) 一冊、(町軒端書)〔永寿堂〕 ※天保十二年、「青林堂」で再板 <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『代夜待白女辻占』(だいやまちしろめのつじうら) 六卷三冊、〈国貞〉〔永寿堂〕 『傾城水滸伝』九編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕 『傾城水滸伝』十編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕 『風俗金魚伝』下編上上帙四卷二冊、〈国安〉〔錦森堂〕 『金毘羅船利生纜』七編八卷四冊、〈英泉〉〔甘泉堂〕 『殺生石後日怪談』三編八卷四冊、〈英泉〉〔錦耕堂〕 『漢楚賽擬選軍談』三編上帙四卷二冊、〈国安〉〔永寿堂〕 <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『南総里見八犬伝』七輯下帙三卷三冊、〈重信〉〔涌泉堂〕 『近世説美少年録』二輯五卷五冊、〈北溪〉〔千翁軒〕 <p>※天保五年、「文溪堂」で再板</p> | <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『新編金瓶梅』(しんぺんきんぺいばい) 初集八卷四冊、〈国安〉〔甘泉堂〕 ※天保五年、第一・二集、表紙のみ〔国貞〕とした後摺あり 『傾城水滸伝』十一編八卷四冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕 『風俗金魚伝』下編上下帙四卷二冊、〈国安〉〔錦森堂〕 『金毘羅船利生纜』八編八卷四冊、〈英泉〉〔甘泉堂〕 『殺生石後日怪談』四編八卷四冊、〈国安〉〔甘泉堂〕 <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> 『新編金瓶梅』二輯上帙四卷二冊、〈国安〉〔甘泉堂〕 『傾城水滸伝』十二編上帙四卷二冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕 『殺生石後日怪談』五編上帙四卷二冊、〈英泉、ただし表紙は国安〉〔錦耕堂〕 『風俗金魚伝』下編下帙四卷二冊、〈国安〉〔錦森堂〕 『千代楮良著聞集』(ちよちよらちよもんじゅう) 初集八卷四冊、〈国安〉〔永寿堂〕 <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『開卷驚奇侠客伝』(かいかんききょうききょうかくでん) 初集五卷八冊、〈英泉〉〔群玉堂〕 『近世説美少年録』三輯五卷五冊、〈北溪〉〔文溪堂〕 『南総里見八犬伝』八輯上帙四卷五冊、〈重信〉〔文溪堂〕 | |

| 天保四年 | 天保五年 | 天保六年 | 天保七年 |
|---|---|--|---|
| 1833 | 1834 | 1835 | 1836 |
| 67 | 68 | 69 | 70 |
| <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『新編金瓶梅』二集下帙四卷二冊、〈国安〉〔甘泉堂〕 ・『傾城水滸伝』十二編下帙四卷二冊、〈国安〉〔仙鶴堂〕 ・『殺生石後日怪談』五編下帙四卷二冊、〈国安、ただし表紙は国貞〉〔錦耕堂〕(読本) ・『南総里見八犬伝』八集下帙三卷五冊、〈重信〉〔文溪堂〕 ・『開卷驚奇侠客伝』二集五卷五冊、〈重信〉〔群玉堂〕 | <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『新編金瓶梅』三集上帙四卷二冊、〈国貞〉〔甘泉堂〕 ・『千代楮良著聞集』二集四卷二冊、〈二世重政〉〔永寿堂〕(読本) ・『開卷驚奇侠客伝』三集五卷五冊、〈国貞〉〔群玉堂〕 | <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『新編金瓶梅』三集下帙四卷二冊、〈国貞〉〔甘泉堂〕 ・『傾城水滸伝』十三編上帙四卷二冊、〈貞秀〉〔仙鶴堂〕 ※嘉永三年、『曲亭翁遺案女水滸伝』十三編、(笠亭仙果作) 〈国貞〉にて改作再刊、後、仙果により続稿〔松寿堂〕(読本) ・『南総里見八犬伝』九輯上帙六卷六冊、〈二世重信〉〔文溪堂〕 ・『開卷驚奇侠客伝』四集五卷五冊、〈二世重信〉〔群玉堂〕 ※五集は蒜園主人によって継作される。 | <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『新編金瓶梅』四集上帙四卷二冊、〈国貞〉〔甘泉堂〕 ・『新編金瓶梅』四集下帙四卷二冊、〈国貞〉〔甘泉堂〕(読本) ・『南総里見八犬伝』九輯中帙六卷七冊、〈二世重信〉〔文溪堂〕 |

| 天保十年 | 天保九年 | 天保八年 |
|--|--|---|
| 1839 | 1838 | 1837 |
| 73 | 72 | 71 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・『草双紙(合卷)』 ・『新編金瓶梅』六集八卷四冊、〈国貞〉〔甘泉堂〕(往來物) ・『女筆花鳥文素』一冊、(内山松陰堂書)〔錦森堂〕 | <ul style="list-style-type: none"> ・『草双紙(合卷)』 ・『新編金瓶梅』五集八卷四冊、〈国貞〉〔甘泉堂〕 ・『風俗金魚伝』三編四卷二冊、〈国安〉〔錦森堂〕 ・『風俗金魚伝』四編四卷二冊、〈国安〉〔錦森堂〕(読本) ・『南総里見八犬伝』九輯下帙中五卷五冊、〈二世重信〉〔文溪堂〕 ・『南総里見八犬伝』九輯下帙下甲五卷五冊、〈二世重信・英泉〉〔文溪堂〕 | <ul style="list-style-type: none"> (読本) ・『南総里見八犬伝』九輯下帙上五卷五冊、〈二世重信〉〔文溪堂〕 |

| 天保十一年 | 天保十二年 | 天保十三年 | 天保十四年 |
|--|---|--|---------------------------|
| 1840 | 1841 | 1842 | 1843 |
| 74 | 75 | 76 | 77 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・(草双紙(合卷)) ・『新編金瓶梅』七集八卷四冊、(国貞)〔甘泉堂〕 (読本) ・『南総里見八犬伝』九輯下帙下乙上四卷五冊、(二世重信・貞秀画)〔文溪堂〕 ・『南総里見八犬伝』九周下帙下乙中三卷五冊、(貞秀)〔文溪堂〕 | <ul style="list-style-type: none"> ・(草双紙(合卷)) ・『新編金瓶梅』八集八卷四冊、(国貞)〔甘泉堂〕 (読本) ・『南総里見八犬伝』九輯下帙下編上五卷五冊、(二世重信・英泉)〔文溪堂〕 ・『南総里見八犬伝』九輯下帙下編中五卷五冊、(二世重信)〔文溪堂〕 | <ul style="list-style-type: none"> ・(草双紙(合卷)) ・『新編金瓶梅』九集八卷四冊、(国貞)〔甘泉堂〕 (読本) ・『南総里見八犬伝』九輯下帙下編下四卷五冊、(二世重信・英泉)〔文溪堂〕 ・『南総里見八犬伝』九種下帙下編下結局四卷五冊、(二世重信・英泉)〔文溪堂〕 | <p>※昨冬の嚴令により、この年の新刻なし</p> |

| 弘化元年 | 弘化二年 | 弘化三年 | 弘化四年 | 十四年 |
|------|--|---|---|-----|
| 1844 | 1845 | 1846 | 1847 | |
| 78 | 79 | 80 | 81 | |
| | <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『新局玉石童子訓』(しんきよくぎよくせきどうじくん) 第一版三卷五冊、〈後豊国(国貞)〉〔文溪堂〕 ・『近世説美少年録』続編、卷一〜三上 ・『新局玉石童子訓』第二版三卷五冊、〈後豊国(国貞)〉〔文溪堂〕 <p>※卷二下〜卷五下</p> | <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『新局玉石童子訓』第三版五卷五冊、〈後豊国(国貞)〉〔文溪堂〕 ・『新編金瓶梅』十集八卷四冊、〈後豊国(国貞)〉〔甘泉堂〕 ・『女郎花五色石台』(おみなえしごしきせきだい) 一集八卷四冊、〈後豊国(国貞)〉〔甘泉堂〕 | <p>(草双紙(合卷))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『新編金瓶梅』十集八卷四冊、〈後豊国(国貞)〉〔甘泉堂〕 ・『女郎花五色石台』(おみなえしごしきせきだい) 一集八卷四冊、〈後豊国(国貞)〉〔甘泉堂〕 <p>(読本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『新局玉石童子訓』第五版五卷五冊、〈後豊国(国貞)〉〔文溪堂〕 | |

| 嘉永元年 | 嘉永二年 | 嘉永三年 | 以降 |
|---|--|---|---|
| 1848 | 1849 | 1850 | 1851 |
| 82 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・『草双紙（合巻）』 ・『女郎花五色石台』二集八巻四冊、〈後豊国〉〔甘泉堂〕 （読本） ・『新局玉石童子訓』第六版五巻五冊、〈後豊国（国貞）〉〔文溪堂〕 | <ul style="list-style-type: none"> （草双紙（合巻）） ・『女郎花五色石台』三集八巻四冊、〈後豊国〉〔甘泉堂〕 | <ul style="list-style-type: none"> （草双紙（合巻）） ・『女郎花五色石台』四集八巻四冊、〈後豊国〉〔甘泉堂〕 ※五集以下は柳下亭種員作、八集以下は柳水亭種清作によつて継作され、文久二年十集で完結。 | <ul style="list-style-type: none"> ・明治十六年、『曲亭遺稿 付馬琴行状記』（松村操編）〔思誠堂〕 ・明治十八年、『羈旅漫録』（渥美正幹校）〈川辺花陵・渡辺小華〉〔畏三堂〕 ・明治二十一〜二十三年、『曲亭雜記』（蓑笠漁隱瀧澤鮮選学海居士依田百川批評）松軒隠士渥美正幹編輯〔博弘堂〕 ※第五輯上編までの全九巻にて停止。 ・明治四十二年、『雀躍』（饗庭篁邨著）〔精華書院〕 ・明治四十四年、『曲亭遺稿』（国書刊行会） |

付記

本年表は『図説日本の古典19 曲亭馬琴』（水野稔他編、集英社、一九八〇年）に載せた原表「馬琴年表」を元に、修正を加えたものである。原表作成に付いては、向井信夫氏、鈴木重三氏はじめ諸氏の御教示、および諸年表・諸論考により作成した。なかでも「馬琴年譜稿」（植谷元、石川真弘、鮫島綾子編、「ビブリア」37、38号、一九六七、八年）の恩恵を受けた。心より感謝申し上げます。